



福島市応急給水訓練実施

福島市水道局の依頼により、中町商店街の方々と一緒に4年生が応急給水訓練に参加しました。4年生は、社会科で水道の仕組みを学習します。先日は、摺上ダムを見学し、貯水が家庭の水道水として活用されるまでを学んできましたが、昨日は、緊急時に飲み水を確保するため、福島市が実施している仕組みについて体験しました。

子どもたちは、学校の近くの平和通りの地下に、緊急時に飲み

水を確保するための仕組みがあることに驚き、興味を持って

臨時の水のみ場からリックサック型のタンクに水を汲んでいました。あいにくの悪天候ではありましたが貴重な体験となりました。

東日本大震災の記憶がほとんどない子どもたちですが、震災後しばらくは断水が続き、水を求めて長蛇の列ができたことなどをお聞きし、水の大切さ、緊急時に自分たちができることを改めて考える機会となりました。



5年生 大成功！ かぼちゃの調理実習

本校は、専門高校との連携によるキャリア教育を実施していますが、明成高校との交流でいただいていたかぼちゃを使って、5年生が調理実習を行いました。

班毎に調べたレシピを元に協力しておいしく仕上げ、生産から調理までの過程を体感し農業や高校の理解を深めました。

- かぼちゃの
- スープ
- ホットケーキ
- チーズ焼き
- サラダ
- ハンバーグ風
- ・・・etc・・・



全国連合小学校長会協議会 北海道大会に参加して

10月4・5日
函館で開催された
標記大会の全体会
シンポジウムでスキージャンプ界のレジェンド「葛西紀明さん」の話をお聞きしました。



葛西選手は、幼い頃、体が弱く体力づくりのために様々な運動を行う中、ジャンプと出会い、めきめきと頭角を現しました。中学校2年から海外遠征、フィンランドのニッカネン選手にあこがれ猛練習の結果、高校2年でワールドカップ7位となりました。スランプやオリンピックで金メダルを逃した悔しさなど競技生活には様々な困難がありましたが、そんな中で支えてくれたのは、家族の存在、温かな励ましだったそうです。葛西選手の座右の銘は

「自分の夢は努力でかなえる」

自分の夢を持つこと、未来の自分は自ら創り出すもの。常に夢を持ち「挑戦」し、努力を続ける葛西選手に勇気をいただきました。4年後も北京オリンピックを目指します。